



弓山 朔太郎さん(北野田)
Sakutaro Yumigana

キラリ東温この人なう No.122

地域で輝く人にインタビュー

弓山朔太郎さん(8)は、弟の蒼介くんが先に始めたスケートボードに魅力を感じ、一昨年の夏から習い始めた。「初めて乗ったときに楽しいと思い、技が成功したときに周りの友達が盛り上がり、してくれるのが嬉しいです」。スケートボードで最初の目標とされる「オーリー」(板と一緒にジャンプ)ができるようになり、1年での習得が難しい「ブランチ」という大技も得意になった。また、初めて出場した大きな大会「ムラサキスポーツチャレンジカップ IN UZUPA 2024」では、同年代の選手が集うクラスで第2位に輝いた。現在は、さらに難しい技の成功率を高めるため、日々練習に励む。指導者の宮内先生は、「他の人がやっていることをよく観察して、自分に取り入れるから上達が早い。今では本当に上手になってきた。ポジティブな部分を活かし、基礎を固め、大会で通用する選手に育てたい」と語る。1個の技がとても難しく、習得するのに何度も滑って転ぶ。その分、技が成功したときの喜びは大きく、仲間と分かち合う楽しさも魅力の一つ。指導者、家族、仲間に見守られながら夢のオリンピック出場に向けて滑り続ける。

編集後記

スケートボードの取材に伺いました。市誕生20周年を機に整備されるスケートパークから、多くの選手が育てばいいと思います。(相澤)

年末年始にかけ多くのイベントの取材に伺いました。まだまだ知らないイベントが多いので、広い視野で情報を収集していきたいと思います。(戒能)

二十歳の皆さん、キラキラしていて眩しかったです。夢があってもまだ見付かなくても、皆さんがそれぞれに幸せな人生を送れますように！(石田)

目次 Contents

02_PICK UP 二十歳の言葉/04_スイッチとうおん/10_子育てガイド/12_ふれあい広場/16_情報BOX/22_暮らしと健康のカレンダー/24_キラリ東温この人なう